



「生体分子を利用した分子連関相乗系の化学」

日時: 7月26日(土) 14:00~17:30 (参加費無料)

場所: 東京理科大学神楽坂キャンパス 212教室

アクセス: <http://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.html>

今回のセミナーでは化学者の立場からタンパク質を材料として利用し、ユニークな超分子系を研究されている新進気鋭の若手研究者に講演を依頼しました。

光合成や呼吸などのエネルギー変換系において生物は分子が連関した巧妙なシステムを構築しています。本部門では天然のこのようなシステムを手本に、それらを凌駕するような人工システムの構築を目指しています。化学系の立場からご講演をさせていただきますので、バイオ系の方のみならず化学系の学生・研究者の方の積極的なご参加をお待ちしております。

プログラム

14:00-14:05 趣旨説明 佐竹 彰治 (東京理大 理学部第二部)

14:05-14:50 松尾 貴史 (奈良先端大物質創成 准教授)

「生体高分子構造の二面性に着目した人工タンパク質の創成」

14:55-15:40 小松 晃之 (中央大理工 教授)

「タンパク質を用いた機能分子・材料の創製

-人工血液からナノチューブまで-

(休憩)

15:55-16:40 上久保 裕生 (奈良先端大物質創成 准教授)

「弱い相互作用で関連づけられたタンパク質分子集団の特性と制御」

16:45-17:00 紙野 圭 先生 (製品評価技術基盤機構)

「材料系タンパク質で場を作る」

17:05-17:25 パネルディスカッション

テーマ 「生体分子を利用した分子連関相乗系の化学の発展に何が必要か」

司会: 佐竹; パネラー: 松尾、小松、上久保、紙野

17:25 閉会の辞

セミナー参加費は無料ですが、東京理科大学外部からお越しの方には事前登録をお願いしております。参加ご希望の際は、氏名、御所属、連絡先を明記の上、下記問い合わせ先まで電子メールでご連絡ください。

問い合わせ先: 東京理科大学理学部第二部化学科 佐竹 彰治

メールアドレス: satake@rs.kagu.tus.ac.jp

